

珍しい交響曲 チェコ Minor Symphonies Czech

作曲者		生没年	交響曲の数	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ☆☆☆☆:聞く価値はある ※※:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レベル
Leopold Kozeluch	コジェルフ	1747-1818		交響曲 イ長調	※※	4楽章で20分。通奏低音のチェンバロの音も聞こえます。同時代のハイドン、モーツアルト、ベートーベンと比べると、ありきたりとしか聞こえません。		8.573627	Naxos
				交響曲 ハ長調	※※	4楽章で21分。同上			
				交響曲 ニ長調	※※	4楽章で18分。同上			
				交響曲 ト短調	☆☆☆☆	3楽章で17分。短調の雰囲気はある程度味わえます。第3楽章は充実しています。			
Johann Wenzell Kalliwoda	カリヴォダ	1801-1866	7	交響曲第1番(1825)	☆☆☆☆	4つの楽章で28分。第1楽章は短調の豊かな響きを味わえます。第3楽章はシューマンの第4番の第3楽章似。		83289	Carus
Antonin Dvorak	ドヴォルザーク	1841-1904	9	交響曲第1番(1865)	※※	4楽章で43分。個性的な部分もありますが、散漫な感じです。		TKCC-70281	徳間ジャパン
				交響曲第2番(1865)	×	4楽章で45分。個性を消して西洋の様式に近づけようとして失敗しているようです。		TKCC-70282	徳間ジャパン
				交響曲第3番(1873)	★★★★★	3楽章で33分。再び個性を前面に打ち出して成功しています。荒削りな魅力にあふれています。特にいろいろな事件が起こる第2楽章は第8番の第2楽章に近い感じがします。		TKCC-70283	徳間ジャパン
				交響曲第4番(1874)	★★★★★	4楽章で38分。チェコの民俗色満載です。第2楽章冒頭はタンホイザー序曲と似ています。素朴に音楽に浸れます。		TKCC-70283	徳間ジャパン
				交響曲第5番(1875)	☆☆☆☆	4楽章で37分。牧歌的な感じの曲です。		TKCC-70284	徳間ジャパン
				交響曲第6番(1880)	★★★★★	4楽章で54分。特に第1, 3楽章はチェコの民俗色満載です。		TKCC-70285	徳間ジャパン
Zdenek Fibich	フィビフ	1850-1900	3	交響曲第1番(1883)	※※	4楽章で37分。第4楽章になってやっとチェコ風味が出てきます。		8.572985	Naxos
				交響曲第2番(1893)	※※	4楽章で40分。あまり聞き映えはしません。		8.573157	Naxos

				交響曲第3番(1898)	☆☆☆☆	4楽章で37分。民族楽派らしい雰囲気を味わうことができます。	○	8.57412	NAXOS
Leos Janacek	ヤナーチェク	1854-1928	1	ドナウ交響曲(1928)	※※	作者の死後発見され、1948年に弟子が編集して初演。このCDの演奏は1985年に音楽学者が改訂した版。シンフォニエッタに似た雰囲気はありますが、4つの楽章で16分という短さ。		SU 3888-2	SUPRAPHON
Josef Bohuslav Foerster	フェルステル	1859-1951	5	交響曲第1番(1888)	☆☆☆☆	4つの楽章で30分。第1, 4楽章には聞き映えのする部分があります。	MDG63222442 ブックレットの中にドボルザーク、フェルステル、フィビヒ他3人が並んで映っている写真があります。	Mdg	
				交響曲第2番(1893)	☆☆☆☆	4つの楽章で45分。第2楽章の葬送行進曲と第4楽章は聞きごたえがあります。			
				交響曲第3番(1895) 人生	☆☆☆☆	4つの楽章で39分。第2、4楽章は聞きごたえがあります。			
				交響曲第4番(1905) 復活祭の夜	☆☆☆☆	4つの楽章で40分。聴きごたえがあります。第4楽章の最後は3番までとは異なり、大変盛り上がります。			
				交響曲第5番(1929)	☆☆☆☆	4楽章で45分。70歳の誕生日を記念して初演されました。4番までは、だいぶ異なり、分かりやすくなっています。			
Josef Suk	スーク	1874-1935	2	アスラエル交響曲(1906)	☆☆☆☆	5楽章で59分。アスラエルは死を司る天使の名前とのこと、イスラエルとは無関係です。リヒャルト・シュトラウスのような響きがします。変化に富んで聞き映えのする部分も多いです。		483 4781	DECCA
Bohuslav Martinu	マルティヌ	1890-1959	6	交響曲第1番(1942)	☆☆☆☆	4楽章で35分。第3, 4楽章は聞き応えあります。	8950 交響曲全集	DDD MCPS	
				交響曲第2番(1943)	☆☆☆☆	4楽章で24分。ピアノが入ります。だいぶ分かりやすくなっています。			
				交響曲第3番(1944)	※※	3楽章で29分。ピアノが入ります。魅力に欠けます。			
				交響曲第4番(1945)	☆☆☆☆	4楽章で30分。特に第2, 4楽章が印象的です。			
				交響曲第5番(1946)	×	3楽章で32分。軽い感じで楽しめません。			
				交響曲第6番(1953)	※※	3楽章で28分。ところどころは聞けます。			
Walter Kaufmann	カウフマン	1907-1984		交響曲第3番(1936)	☆☆☆☆	3楽章で19分。ボヘミア生れですが各地で活動。最後はアメリカで活動。3つの楽章で19分。第1楽章の主題はアジア風の5音音階。第2, 3楽章も5音階風。日本民謡風の旋律も登場。		555631	Cpo

				インド交響曲(1943)	※※	ナチスの迫害をのがれ、1943年から一時期インドに亡命。3つの楽章で16分。私が持っているインドの印象とは相当異なる音がします。		
Miloslav Kabelac	カバラーチ	1908–1979	8	交響曲第2番(1942–46)	☆☆☆☆	3楽章で37分。1948年にチェコ国家賞を受賞した作品。第1楽章の冒頭はゴジラ風。以降の第1楽章は無国籍な怪獣映画音楽のよう。第2楽章ではアルトサックスが活躍。第3楽章も無国籍風でリズムが強調される。	C5546	Capriccio
Jan Hanus	ハヌシュ	1915–2004	7	交響曲第2番(1951)	☆☆☆☆	4楽章で37分。作曲年より50年は昔の感じの曲。おもちゃ箱をひっくり返したようにいろいろな場面が脈絡なく登場し、とても楽しい気分になれます。	SU 3701-2 001	SUPRAPHON